

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 346 回 研究会

日時 令和3年2月17日(水) 午後4時 ~ 午後5時30分
場所 オンライン開催
奈良中央信用金庫 3階 研修室
講師 奈良県事業引継ぎ支援センター 統括責任者
中小企業診断士・税理士
保延 薦 氏
テーマ 「事業承継・M&A」セミナー

今回の研究会は、近隣の大阪府と京都府、兵庫県に緊急事態宣言が発令されている状況下にあることを鑑み、参加者の皆様のコロナウイルス感染防止に留意し、オンラインでの開催となりました。

最初に、上田会長より本日の例会の開催にあたり、ご挨拶を頂きました。

今回の研究会は、奈良県内の事業者の事業承継をサポートする奈良県事業引継ぎ支援センターより、統括責任者で中小企業診断士、税理士の保延薦氏を講師にお招きして、「事業承継・M&A」をテーマに、ご講義を頂きました。

経営者の高齢化、後継者不在が問題となっているなか、コロナウイルス感染拡大で先行きが不透明となり廃業を考えている経営者も増えています。一方で、今後も事業を継続していくためには、ポストコロナに向けて事業を変革していく必要があります、M&Aはその重要な手段であります。

ご講義では、まず中小企業経営者の年齢のピークが高齢化し70歳近くまで上がっている日本の現状についてお話頂き、資産の移転、相続問題、後継者選定、事業改善など、経営者として事業承継のためにやらなければならない多くの課題を解り易く解説頂きました。

また事業を引き継ぐ際の重要なこと、後継者の育成、そして親族内承継、従業員承継、M&A（第三者承継）で其々やらなければならないことを説明頂きました。引き渡すもの、引き継ぐもの、お互い感謝の気持ちが一番大事とのこと。終盤には従業員承継、M&Aの事例を紹介頂き大変参考になったかと思えます。

今回のテーマは、会員の皆様の会社にとっても重要な、関心の高い内容ですので、講義が終ってからも、多くの質問が寄せられました。保延先生、貴重なご講義をありがとうございました。

以 上



講師 奈良県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 保延薦氏



セミナー状況